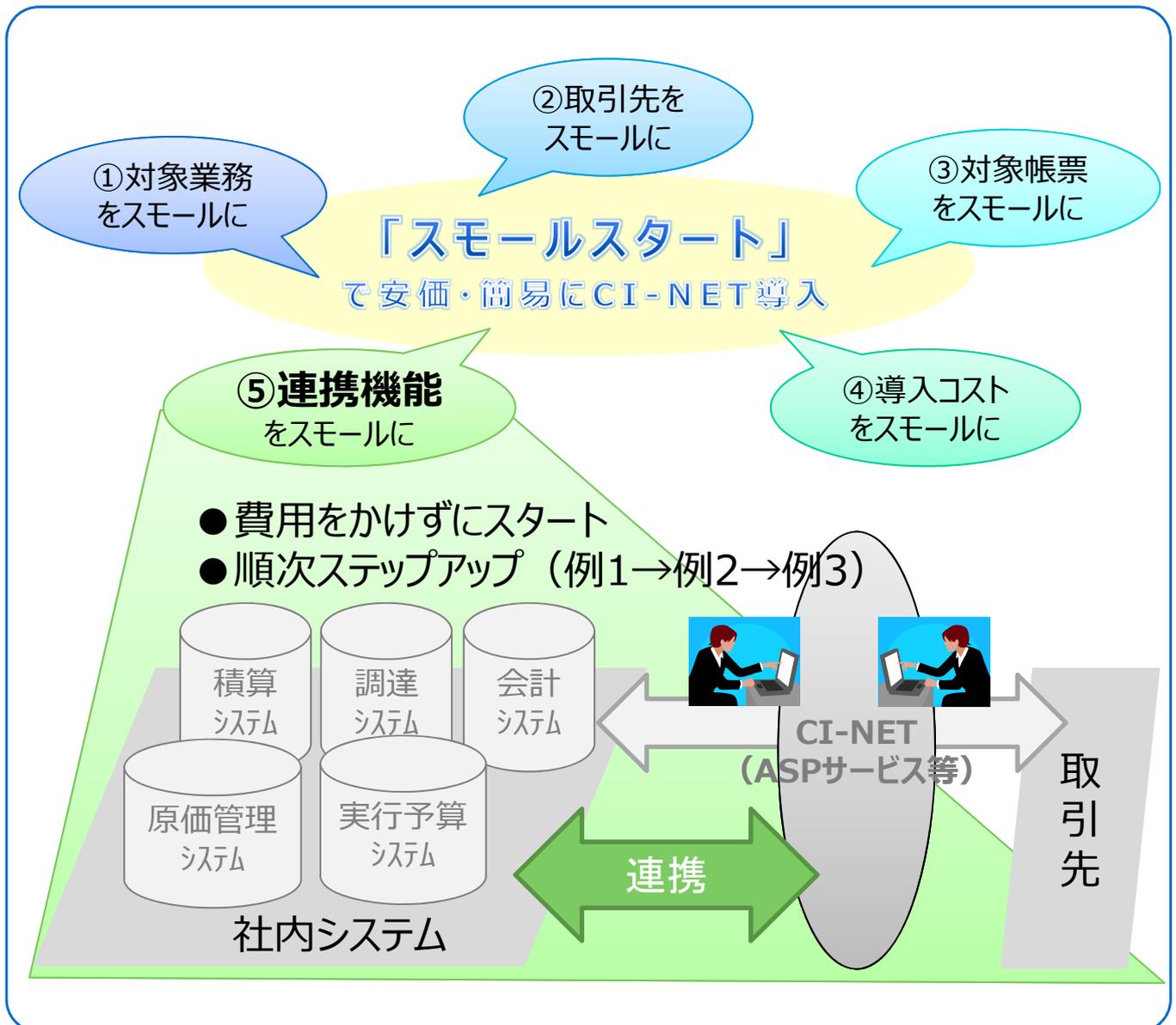


社内システムとCI-NETの連携

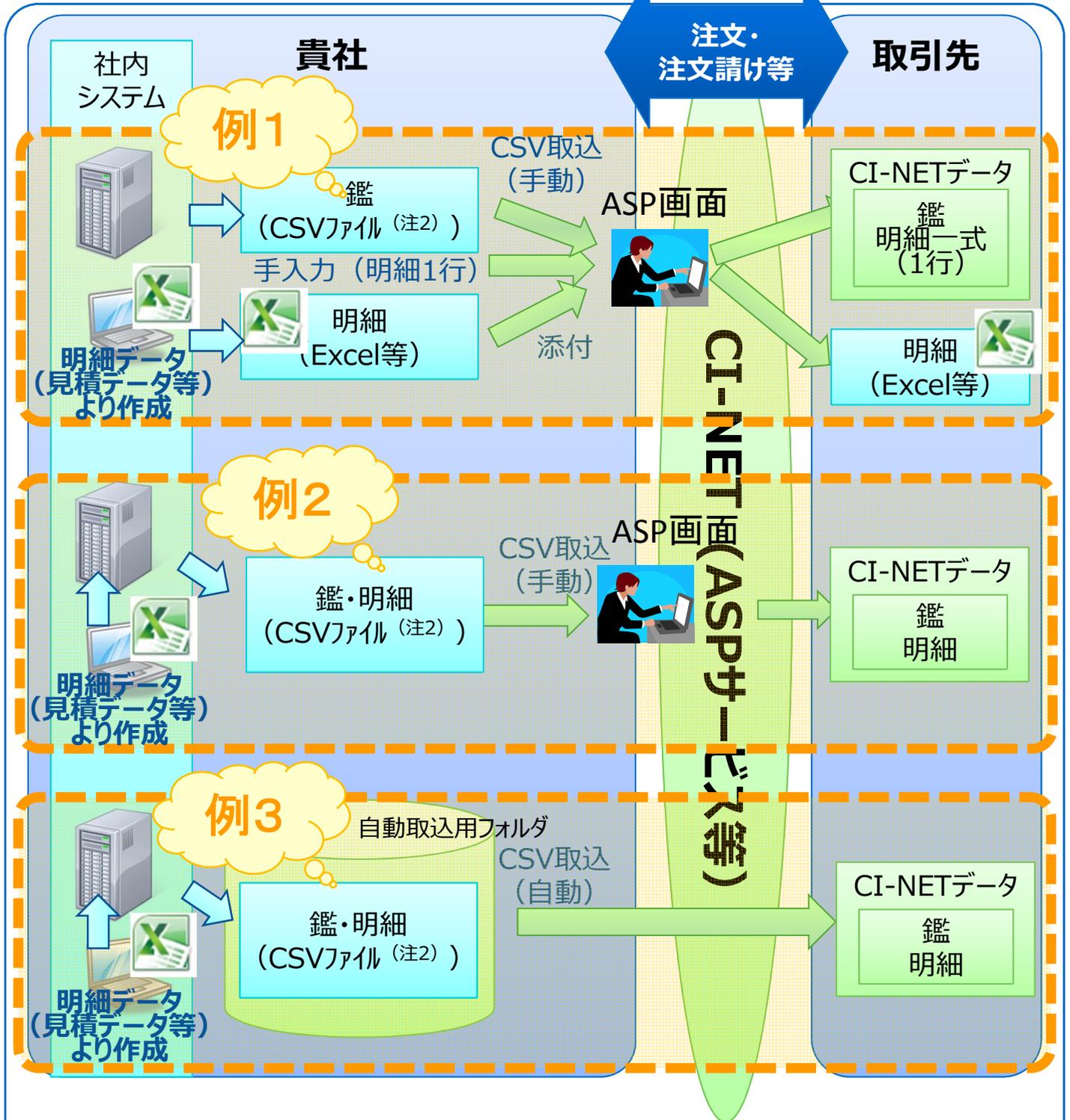


「社内システムとCI-NETの連携」イメージ

【凡例】 : 社内システム

: CI-NET (ASPサービス等)

注文・注文請けの場合

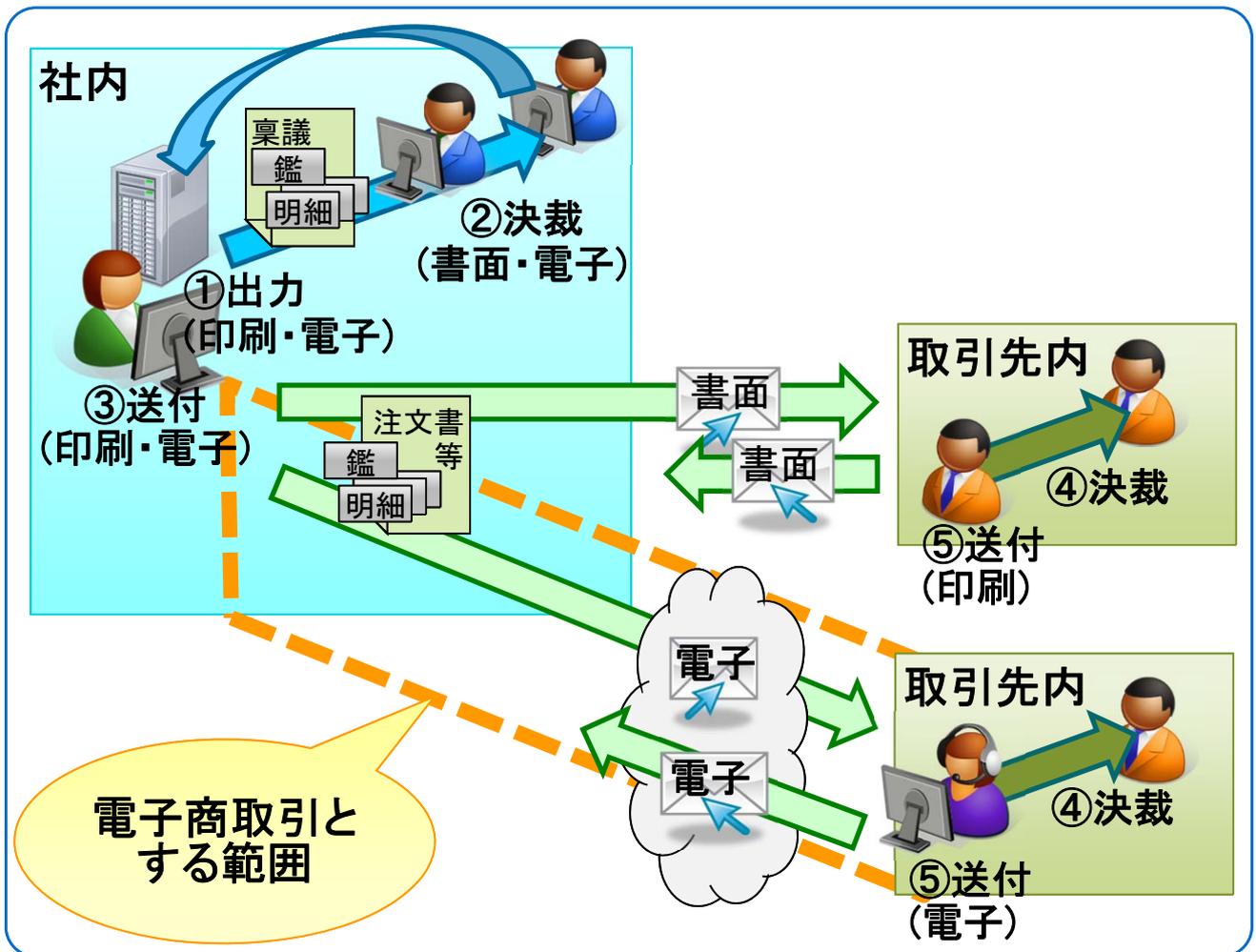


(注2) : CI-NET LiteS実装規約のデータ項目順に並べ直したもの。
 CSVファイルの作成方法は、CI-NETサービス提供ASPベンダーへお問い合わせください。

書面と電子データが混在する場合について

社内(システム)と電子商取引の範囲の例

- 書面と電子データが混在する場合においても、社内の決裁方法(書面あるいは電子データ)を変更する必要はありません。
- 取引先との窓口担当者は、注文書等を取引先に送付する際、
 - 取引先が書面の場合：書面を印刷の上、封入して投函します。
 - 取引先が電子の場合：電子データ化してインターネット経由で送信します。



CI-NETとの連携に伴う社内システムの修正について

社内システムとCI-NETの連携には、社内システムの修正が必要になります。留意点は以下の通りです。

- 連携させるデータ (見積、注文等) に応じて、鑑データ、あるいは明細データの作成
- CI-NETで定められた項目の並び順、コード体系 (取引先コード他) への変換
- 外字対応 等

詳細は、CI-NETサービス提供ASPベンダーにご相談ください。

社内システムとCI-NETの連携方法 (例)

「社内システムとCI-NETの連携」には、いくつかの方法があります。コストをかけずに伝票処理の手間を省けるよう、貴社に合ったやり方を見つけましょう。

例1

低コストで手軽
に始められます

● 鑑（注1）のみをCI-NETで ●

社内システムから鑑情報（明細は「一式」一行のみ）を、CI-NETサービス（ASP等）に取り込む方法です。明細はExcelファイル等で添付して送ります。軽微な社内システム改修で済む点がメリットです。

例2

入力作業が大幅に
軽減されます

● 鑑（注1）と明細をCI-NETで（手動登録） ●

社内システムの鑑と明細データを、CI-NETサービス（ASP等）のアップロード（登録）機能を使って送る方法です。データ送信の都度、手動でアップロードしますが、データの入力は不要になります。

例3

入力・登録作業
が不要になります

● 鑑（注1）と明細をCI-NETで（自動登録） ●

社内システムの鑑と明細データを、CI-NETサービス（ASP等）に自動登録する方法です。データの入力・登録は不要になります。

低
↑
コスト
↓
高

小
↑
利便性
↓
大

※ 上記は注文書作成の場合の例示です。注文請けについても、逆の手順により取引先から受信したデータを社内システムに取り込むこともできます。

（注1） 「鑑」とは・・・帳票の表紙に相当する部分を指します。一般的には、契約件名や契約金額合計等が記載されています。

お問い合わせ先

一般財団法人建設業振興基金 建設産業情報化推進センター CI-NET(シーアイネット)担当
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12虎ノ門4丁目MTビル2号館
tel.03-5473-4573, fax.03-5473-4580, E-mail: ci-net@kensetsu-kikin.or.jp